

## 平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	3-5、3-6

### 1. 学習の到達目標

コミュニケーション英語Ⅰで身に付けたコミュニケーション能力をさらに伸ばすことを目標とする。目的に応じた読み方、話し合った結果をまとめる。教材は人権を含む社会問題全般に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図る。

### 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	LESSON4 [The H. S. Student Restaurant ] 中間考査 LESSON5 [ Why Is It That Shape? ] 期末考査	単元を通じて高校生レストランについて考えさせる。 文法：形式主語 it の習得  単元を通して、モノの形について考えさせる。 文法：関係代名詞 what の習得
2 学 期	LESSON6 [Kinjo Koji and the Coral Reef] 中間考査 LESSON7 [ Changing Language ] LESSON8 [Do We Need That?] 期末考査	単元を通して、金城浩二とサンゴ礁について学習させる。 文法：過去完了形の習得  単元を通して、変化することばについて学習させる。 文法：関係代名詞の継続用法を習得 単元を通じて、サービスが必要かについて考えさせる。 文法：無生物主語の習得
3 学 期	LESSON9 [ Sleep] LESSON10 [Win for Our Nation] 学年末考査	単元を通して、睡眠について考えさせる。 文法：使役動詞の習得 単元を通して、祖国のために勝つことについて考えさせる。文法：知覚動詞を用いた文の習得

### 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、授業前単語テスト、提出物等授業態度による
------	------------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	英語の学習を通じて、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付ける。

### 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	COMET English CommunicationⅡ（数研出版）
副教材	ESSENTIAL WORDS①（中部日本教育文化会）